allcinema

ラブレター（1981）

メディア 映画
ジャンル エロティック　ロマンス　ドラマ
製作国　日本
色彩　Color
時間　83分
初公開日 1981/08/07

【解説】
　詩人・金子光晴の愛人からの聞き語りを江森陽弘が小説にまとめた「金子光晴のラブレター」を、田中陽造が脚色し東陽一が映画化。にっかつロマンポルノの10周年記念作品として製作された。
　詩人の小田には有子という愛人がいた。小田が有子を訪ねるのは気まぐれだったが、生活費だけは定期的に届けていた。しばらく小田が来ないことに不安を覚えた有子は、彼が病気の妻を看護していることを知り、睡眠薬を飲んで倒れてしまう。有子のもとへ駆けつけた小田は、彼女を介抱した。やがて有子は小田の子供を身ごもるが、小田に反対され堕ろしてしまう。有子は精神を病み入院。退院が迫ったある日、小田の急死を知らされ激しいショックを受ける。

【クレジット】

監督	東陽一
企画	佐々木志郎
プロデューサー	前田勝弘
原作	江森陽弘
脚本	田中陽造
撮影	川上皓市
美術	綾部郁郎
編集	市原啓子
音楽	田中未知
助監督	栗原剛志
出演	関根恵子
	中村嘉葎雄
	加賀まり子
	仲谷昇
	西田健
	北見敏之

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.